

はじめに

平素より地域の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。
医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。
原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。
全数報告：第15週～16週(4/7～4/20) 定点報告：第12～16週(3/17～4/20)

全数報告疾患情報

医

——市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第12週～第16週のグラフを別添しております

2類感染症	15～16週	累計（年）
結核	3	35

5類感染症	15～16週	累計（年）
百日咳	6	15
急性脳炎	1	2
水痘(入院例)	1	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6

発生動向トピックス

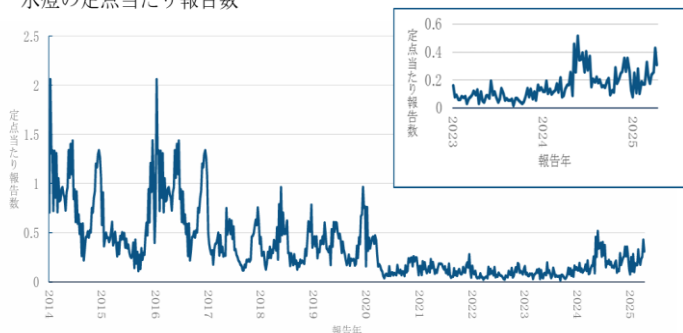
TOPICS 1

水痘が増加傾向です！

医 全

2025年の第15週に、県内の小児科定点医療機関から報告された水痘の定点当たり報告数は0.31人でした。2024年は2023年と比べて増加傾向にあり、2025年も昨年同時期の累計報告数を上回っているため、今後の発生動向に注意が必要です。水痘については、小児科定点医療機関からの報告のほか、入院例を対象に全数把握によるサーベイランスも行われています。

図1：2014年から2025年第15週までに県内小児科定点医療機関から報告された水痘の定点当たり報告数



——小児科定点報告

2024年は2023年と比較して高値で推移し（図1）、2025年第15週までの年間累計報告数は415例であり、2024年の同週時点を上回っています。

—全数報告

報告対象は、24時間以上入院した症例（他疾患で入院中に水痘を発症し、発症後24時間以上経過した例を含む）全ての年齢の症例です。2025年の累計届出数は8例で、2024年同週時点の5例を上回りました。

感染症解説

水痘（みずぼうそう）

症状 発熱/発疹/倦怠感

感染経路 空気感染 飛沫感染 接触感染

出席停止期間 全ての発疹が痂皮化するまで（学校保健安全法より）

発しん出現の1日～2日前から全ての水疱が痂皮化するまで感染性があります！

感染対策

水痘ワクチンの接種（定期接種）

（水痘の予防接種は1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられている。）

接種時期

1回目 生後12か月から生後15か月までの間

2回目 1回目接種後6か月から12か月まで経過した時期

【参考】千葉県感染症情報センター「千葉県結核・感染症週報2025年第15週」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2515-2.pdf>

【参考】厚労省「水痘（入院例に限る。）」 <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-140912-2.html>

【参考】厚労省「水痘ワクチン」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/chickenpox/index.html

【参考】東京都感染症情報センター「水痘 Chickenpox」

<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/chickenpox/>

TOPICS 2

腸管出血性大腸菌感染症に注意！

全 医

千葉県では、2025年第15週に県内医療機関から1例の届出があり、2025年の累計は18例となりました。2025年第14週の全国における発生状況は計7例の届出があり、累計は328例となりました。近隣都県では東京都で1例、埼玉県で1例の届出がありました。

一般的に気温が高い初夏～初秋は腸管出血性大腸菌の多発期であり、県内でも例年届け出数が増える傾向があるため、これからの時期は特に注意が必要です

感染症解説

腸管出血性大腸菌 感染症

症状 無症状／下痢／腹痛／血便 など
溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症することも

感染経路 経口感染：①食べ物から人への感染
②人から人への感染

感染対策 菌は加熱や消毒薬によって死滅する
①肉類は火が通るまで加熱する（目安：75℃以上1分間以上加熱）
②箸やトングを使い分ける
③野菜や果物は十分洗浄する
④排便後・食事前・排泄物の処理後等は石けんと流水で手を洗う

3
主
徴

溶血性貧血
血小板減少
急性腎障害

子どもと高齢者に
起こりやすい
合併症

【参考】千葉県感染症情報センター「千葉県の腸管出血性大腸菌感染症発生状況2025年第15週」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202515ehc.pdf>

海外においては、国内では見られない感染症が流行していることがあり、海外滞在中に感染する可能性があります。海外で感染症にかからないようにするために、感染症に関する正しい知識と予防方法を身に付けましょう。

計画前

- ◎これまでに受けた**予防接種歴**を母子手帳で確認しましょう。
- ◎渡航先で推奨されている**予防接種**をまだ受けていない場合は早めに医師に相談して受けるようにしましょう。
- ◎渡航先の**感染症流行状況**を確認しましょう。

旅行中

食べ物や水を介して感染する感染症は、A型肝炎や腸チフス等があります。食事は十分に火が通っているものを食べましょう。また、**生水・氷・生の魚介類・カットフルーツ**の飲食は避けましょう。

蚊やダニを介した感染症はマラリア・デング熱・ダニ媒介脳炎・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）等があります。長袖の服等を着用し**肌の露出**を避け、**虫よけスプレー**を使用するといった対策をしましょう。

動物を介した感染症は狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスなどがあります。現地の動物は重篤な感染症の原因となる病原体を持っている可能性があります。また、中東諸国へ旅行し、**ヒトコブラクダとの接触**があった場合は、中東呼吸器症候群（MERS）にご注意ください。現地では、**むやみに動物に近づかず、触れないように**にしましょう。

人から人に感染する感染症として、麻しんや風しん等があります。咳や発熱、発疹等の症状がある方との濃厚な接触は避けるようにしましょう。また、感染対策の基本である**手洗い・手指消毒**を心がけましょう。

帰国後

帰国時

空港や港の検疫所で健康相談ができます。

発熱、咳、発疹、下痢などの症状がある場合や、**動物にかまれた、蚊に刺された**など健康が心配なことがあれば、検疫官に相談しましょう。

帰宅後

感染症の潜伏期間は数日から1週間以上の場合もあります。

帰国後に具合が悪くなったら、医療機関を受診し、**渡航先や滞在期間、現地での飲食や活動内容、動物との接触、ワクチン接種歴**を伝えてください。

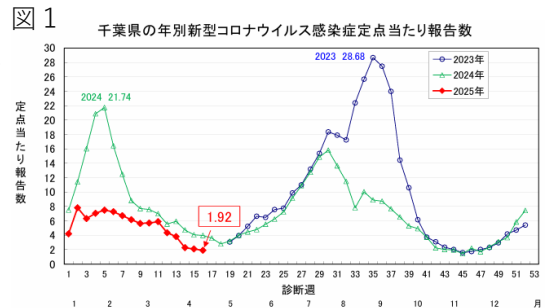
医全

【参考】厚生労働省：インフルエンザQ&A
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2024.html

—— 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です

第16週の千葉県全体の定点当たり報告数は、前週の2.11(人)から減少し、1.92(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、君津(4.33)、市原(4.22)、長生(3.14)でした。

市川保健所管内の報告数は、前週から横ばいで経過し、1.29(人)となっています(図2)。

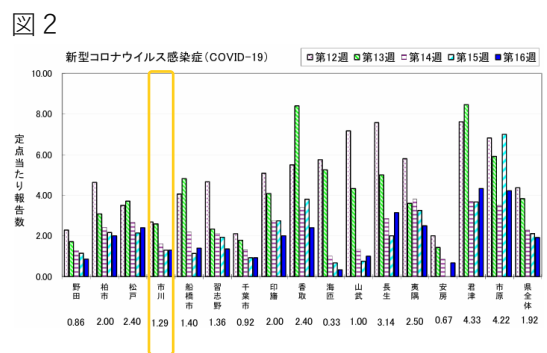


【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202512covid19.pdf>

【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>



感染
対策

インフルエンザを予防する
方法と同様です

お知らせ

医 全

- ・【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵袭性髄膜炎菌感染症)の発生届をご提出いただく際は、発生届の御提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします。
※閉庁日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターにご連絡をお願いいたします。
- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることを御了承ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任において御利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

配
信
元

千葉県市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp